

春期特別展

湘南のシダ



●シダ植物を知っていますか？

シダと聞いて、皆さんが思い浮かべるのは、どんな植物でしょうか。食べられるワラビやゼンマイ、お正月の飾りに使うウラジロ、鉢植えにするシノブやタマシダなどは、誰でも知っているシダ植物です。意外なところでは、燃料にする石炭は、今から約3億年も前の古生代に栄えた大きなシダの化石なのです。

それでも、シダはどちらかというと注目されることの少ない、地味な植物です。この特別展では、そんなシダにスポットを当て、その興味深い姿を紹介したいと考えました。

●シダはどんな所が好き？

山を歩いていると、林の下生えにシダが一面に茂っている所があります。それは決して、あまり日の差し込まない薄暗い林です。シダ植物は湿度の高い環境を好み、また暖かい地方ほど多くの種類があります。平塚付近ではもっともたくさんシダが見られるのは、沢沿いのスギの林です。

多くのシダは地面に生えますが、マメヅタやノキシノブのように木の幹に生えるもの、ミツヅウラボシのように岩にはりつくもの、オオアカウキクサのように水に浮かぶものもあります。(浜口)

会期：昭和62年3月12日～4月17日

会場：平塚市博物館特別展示室

記念講演会 「シダに魅せられて」

講師： 守矢淳一氏（日本シダの会・当館協
議会委員）

日： 3月26日（土）

時間： 午後2時から4時

会場： 博物館講堂（入場自由）

なお当日シダ植物についての映画も上映します。